

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P187～191参照		
中学部【外国語】 目標		
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語の音声や基本的な表現に触れる活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
(1) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。	(2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	(3) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

■ 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29)に示される各教科の「目標」に照らして、その「内容」の習得状況を記入する。

○:学習した内容 ◎:学習した内容をおおむね習得している

- * まだ学習していない内容については、空欄にする。
- * 中学部2段階の内容を習得し、目標を達成して小・中学校学習指導要領の内容を発展的に取り扱っている場合は、別紙様式に記入する。
- * 中学部の段階の指導が難しい場合は、小学部の目標や内容を参考にする。しかしながら、教科の名称までを替えることはできないことに留意する。

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P187～191参照

中学部【外国語】 内容(1～3 学年) ※必要に応じて設ける

目 標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語の音声や基本的な表現に触れる活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
(1) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞きする外国語に興味や関心をもち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。	(2) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。	(3) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

内 容

※外国語科においては、英語を履修させることを原則とすること。

内 容	1学年	2学年	3学年
【知識及び技能】 (1) 英語の特徴等に関する事項:実際に英語を用いた場面や状況等における言語活動 ア 英語の音声や基本的な表現に慣れ親しむこと (ア)英語の音声を聞き、真似て声を出したり、話したりしようとする。こと。 (イ)英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取る。こと。 (ウ)基本的な表現や語句が表す内容を知り、それらを使うことで相手に伝わることを感じ取る。こと。 イ 日本と外国の言語や文化に慣れ親しむこと (ア)体験的な活動を通して、日本と外国との生活、習慣、行事などの違いを知ること。 (イ)対話的な活動を通して、相手の発言をよく聞こうとしたり、相づちや表情、ジェスチャーなどで応じようとする。こと。			
【思考力、判断力、表現力等】 (2) 情報を整理し、表現したり、伝え合ったりすることに関する事項:具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて情報や考えなどを表現すること ア 日常生活に関する簡単な事柄について、伝えたいことを考え、簡単な語などや基本的な表現を使って伝え合うこと。 イ 日常生活に関する簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどが伝わるよう、工夫して質問をしたり、質問に答えたりすること。			

(3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項: (2)に示す事項については、(1)に示す事項を活用して、例えば、次のような言語活動をとって指導する ア 聞くこと (ア)文字の発音を聞いて文字と結び付ける活動。 (イ)身近で具体的な事柄に関する簡単な英語を聞き、それが表す内容をイラストや写真と結び付ける活動。 (ウ)挨拶や簡単な指示に応じる活動。 イ 話すこと【発表】 (ア)自分の名前、年齢、好みなどを簡単な語などや基本的な表現を用いて表現する活動。 (イ)身近で具体的な事柄の様子や状態を簡単な語などや基本的な表現、ジェスチャーを用いて表現する活動。 ウ 話すこと【やり取り】 (ア)簡単な挨拶をし合う活動。 (イ)自分のことについて、具体物などを相手に見せながら、好みや要求などの自分の考えや気持ちを伝え合う活動。 (ウ)ゆっくり話される簡単な質問に、英語の語など又は身振りや動作などで応じる活動。 エ 書くこと (ア)身近な事柄を表す文字を書く活動。 (イ)例示を見ながら自分の名前を書き写す活動。 オ 読むこと (ア)身の回りで使われている文字や単語を見付ける活動。 (イ)日本の人の名前や地名の英語表記に使われている文字を読む活動。 ② 言語の働きに関する事項: 言語活動を行うに当たり、主として次に示すような言語の使用場面や言語の働きを取り上げる ア 言語の使用場面の例 (ア)特有の表現がよく使われる場面 ㊦ 挨拶をする ㊧ 自己紹介をする ㊨ 買物をする ㊩ 食事をする など (イ)生徒の身近な暮らしに関わる場面 ㊦ ゲーム ㊧ 歌やダンス ㊨ 学校での学習や活動 ㊩ 家庭での生活 など イ 言語の働きの例 (ア)コミュニケーションを円滑にする ㊦ 挨拶をする ㊧ 相づちを打つ (イ)気持ちを伝える ㊦ 礼を言う ㊧ 褒める (ウ)相手の行動を促す ㊦ 質問する			
--	--	--	--

【その他の外国語】その他の外国語については、外国語の2の内容の【英語】に準じて指導を行うものとする。